

2. 学部授業科目

1723 (76)

授業科目	統計で社会を考える		
単位数	2	授業形態	講義
担当教員	大井 達雄		
実施日・時間	10月1日(土) 13:00~17:00		
	10月8日(土) 13:00~17:00		
	10月15日(土) 13:00~17:00		
	10月22日(土) 13:00~17:00		
	10月29日(土) 13:00~17:00		
	11月5日(土) 13:00~17:00		
【講義内容】			
<p>わたしたちが日々の生活を営む上で、社会や経済、政治の現状についての基本的知識を“市民的教養”として有ることが求められています。この授業では、市民生活として必要な基本的知識や、市民として知っておくべき内容を、さまざまな統計データを通じて理解することを目的としています。具体的には、転換期にある日本の社会と経済がもたらしている基本問題に関し、どのような統計資料を取り上げ、さまざまな統計指標を使って、このような問題を分析すべきかを考えることを内容としています。</p>			
【実施授業内容】 (内容については変更することもあります)			
<p>第1回 高齢化社会と人口統計 第2回 変わる産業構造と事業所・企業統計 第3回 日本的雇用慣行と労働統計 第4回 わたしたちの生活時間に関する統計 第5回 日本の住宅事情 第6回 食生活の変化と食料供給に関する統計 第7回 暮らしと物価・家計統計 第8回 社会保障・社会福祉に関する統計 第9回 医療保障・介護保険・年金制度 第10回 環境問題と環境統計 第11回 経済成長とSNA統計 第12回 景気変動と景気指標 第13回 経済摩擦と国際収支統計 第14回 国・地方自治体の財政危機と財政統計 第15回 まとめ ー社会・経済の問題と統計利用ー</p>			
【テキスト・教材】			
(テキスト)			
近昭夫、岩井浩、福島利夫、木村和範編著『現代の社会と統計ー統計にもつよい市民をめざしてー』産業統計研究社、2006年			
適宜、プリントを配布します。また参考書については、講義の中で随時説明します。			
【事前学習】			
新聞、雑誌やテレビを通じて、社会や経済に関する情勢についての理解を深めておいてください。			
【注意事項】			
受講生の人数によっては、パソコン教室で、表計算ソフト(EXCEL)を使用してデータ解析を行うことがあります。ある程度、パソコンの使い方を理解していることが望ましい。			